

3. AQUARIUM×ART atoa (アトア)

～世界のどこにもない世界に没入して感じる生命の美しさ～

楽しみながら生きものや自然への興味関心を高め、理解を深める



『アクアリウム、アート、SDGs』

アクアリウムとアートが融合した新感覚の都市型水族館である本施設は、それぞれテーマの異なる8つのゾーンで構成されています。エンターテインメント性が強調されたつくりにも見えますが、SDGsへの取り組みを含めた環境教育要素もさりげなく、しかしたっぷりと詰め込まれています。

「魚よりごみの方が多いい海にしないために」

海ごみは、私たちの日常生活から出るプラスチックなどのごみが海に流れ込み、海洋生態系に深刻な影響を与える問題です。毎年約800万tのプラスチックごみが海に流れ込み*、海洋生物が誤って摂取するケースも多発しています。この問題は、私たちの未来の環境と健康に直結しており、早急な対策が求められています。海の未来を変えるため、私たち一人ひとりにできることを、考えていきましょう。

プログラムスケジュール例

- 09:30～ 水族館職員によるSDGsの取り組み説明とグループワーク(別会場)
- 10:50～ 移動
- 11:00～ 館内関連展示解説(小グループずつ10分程度)自由見学、自由解散
- 12:30 終了

実施場所：AQUARIUM x ART átoa
実施時間：平日 09:30～17:00
所用時間：約3時間
実施可能人員：30～150名程度
実施費用：3,600円/名
※会場費等、別途費用必要な場合あり

①BLUE CARBON (ブルーカーボン)

地球温暖化を抑えるためには、温室効果ガスのCO2からたくさん貯めこまれたブルーカーボンが重要です。アマモなどの海草は炭素(C)をととても素早く貯めこみ、世界中の浅い海に、広く分布していることから注目されています。また、アマモなど海草の群落は海にすむ様々な生きものの産卵場・生育場としても、海の生態系に不可欠な存在。átoaでは来場者にブルーカーボンについて理解を深めてもらうため、館内に壁面アートを展示しています。



②海ごみ問題について知ろう

海の生きものや私たちの暮らしを大きく脅かす海ごみ。大量の海ごみは一体どこからくるのでしょうか。ポイ捨てや不法投棄のほか、風雨によって川や海に飛ばされてしまったごみ、災害時に出た大量のごみや漁網など、その原因やルートはさまざまです。きれいな海を守るために、私たちに何ができるのでしょうか。まずは海ごみについて知るところから始めましょう。



3. AQUARIUM×ART atoa (アトア)



学習のポイント

- ① 楽しみながら生きもの・自然への関心を高め理解を深める
- ② ブルーカーボン、海ゴミ問題とその対策を知る
- ③ 日々の暮らしの中で「できること」を自ら考える



学習の流れ (モデル)

